

いわさき明子の議会報告



第4回定例会ダイジェスト

■「コミュニティセンターやスポーツ施設などの指定管理者指定議案が33件出されました。公募して民間にゆだねるのか、非公募で外郭団体に任せるのか、その業者を指定する必然性を市民にきちんと説明できるかという視点で審査しました。中でも「いきいきセンター」を非公募で指定管理する議案については、地域のNPO等が管理・運営を担う可能性を問えずと考へ、市民ネットワークは反対しました。

■議員の期末手当引き上げ議案が出されました。市の財政状況が引上げに値するほど好転しておらず、また議員報酬の減額措置も行っていないため、反対しました。（反対した2つの議案は残念ながら他党派の賛成多数で可決。）

■宗教学人毘沙門堂がJR稲毛駅近隣に計画中の納骨堂「毘沙門堂稲毛霊廟（仮称）」について、反対する住民から請願が3件提出され、「本霊廟の申請について厳正に審査すること」とした1件が採択されました。



ストップ！公民館 図書館の民間委託

公民館は単なる貸し部屋ではありません。教育委員会が管轄する*社会教育施設です。住民と職員が協力し、地域課題解決のための学習機会を作ることが役割ですが、現状は充分とは言えません。市では、市民サービス向上の有力な手法として「指定管理者制度」も検討中ですが、社会教育とは本来、「公」が直接市民に対して行うものです。まずは直営で地域づくりの拠点として活性化をはかるよう求めました。

図書館では、本の貸出や資料収集、レファレンスサービスを核として社会教育を行っています。花見川区役所内に29年3月開設予定の図書館は、住民の知る権利を保障するサービスは行いつつ、市民意見を取り入れた新しい形の施設になること。安易に民間活力に頼って、サービスの質が低下しないよう要望しました。

地産地消をすすめ 農業を元気に

また、都市公園施設で行っている社会教育的事業（三陽メディアフラワーミュージアムのフラワーカレッジや、特徴のある植物を学べる企画展示など。動物公園の飼育員による動物ガイドや、専門家による講演会、一日飼育体験なども連携し、より豊かな教育環境をつくることを提案しました。

※社会教育：個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育。国及び地方公共団体によって推奨されなければならないとされている。（教育基本法第12条）

生産地が消費者から近く、互いに顔の見える関係が作りやすい、というのが千葉市で農業をするメリットの一つです。市街化区域内にある農地を「生産緑地地区」として指定することで、市街化区域内でも農地並みの課税となり、農業者は農業を継続しやすくなります。指定要件にある面積規定を現行の500㎡以上から緩和するなどして、農地減少に歯止めをかけ、都市近郊農業の振興をはかるよう要望しました。



新規就農希望者研修制度は、市内農業者19名増という成果がある一方、近年は応募者の定員割れが課題です。ホームページに卒業生の体験談を載せるなどし、千葉市で農業をする利点をアピールすることを提案。また、地域の人から信頼を得やすい行政が、新規就農者の力になり、農地を借りる支援をすることが必要と訴えました。

有機・無農薬栽培農家を認証する市独自制度を提案しましたが、良い回答は得られず。既存の「地産地消シンボルマーク」を使った市内産野菜のアピールと、認証の要件を減農薬にシフトする等、レベルアップを求めました。



また、既存の民間企業等との連携体制を生かし、駅前マルシェを開催するなど生産者と消費者が直接出会う機会を増やすよう要望しました。

指定廃棄物長期管理施設のその後は？！

千葉市は昨年4月に、県内にある指定廃棄物（放射能濃度が8,000Bq/kg以上）の長期管理施設建設のための詳細調査候補地となっていたことが報

認知症の当事者や家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症に対する啓発を行い、地域全体で見守り支え合える仕組みづくりをしようと、美浜区では平成27年度から中学生及び小学校5・6年生を対象に、認知症キッズサポーター養成講座が開催されています。

2458人のキッズサポーターが誕生！



今回の一般質問ではこの講座の目的、対象、内容や、1年目の事業評価と課題、今後の展開などについて聞きました。今年度は小中学校9校で2,458人のキッズサポーターが誕生し、平成29年度までの3年間で美浜区内すべての公立小中学校で開催予定です。

講座では児童・生徒向けのテキスト（右の写真）が使用され、内容に沿って認知症の説明が行われました。テキストを自宅に持ち帰り、家族で認知症について話し合い、考えていくよう指導しているそうです。

講座終了後のアンケートでは「認知症の方を支えるのが当たり前の社会にしたい」「身近な人が認知症になったら手助けをしたい」などの感想がありました。今後の展開や千葉市全域への拡がりに注目しています。

（市民ネットワーク市議会議員 松井かよ子）



若葉区長と懇談

毎年、市民ネットワークから千葉市に提出している「予算編成に向けての要望書」について、区長と懇談を行っています。今回は、地域活性化支援事業の助成団体について、都賀駅前駐輪場、空き家対策、若葉の魅力再発見などについて意見交換しました。



若葉区のこれからについて和やかに話し合いました